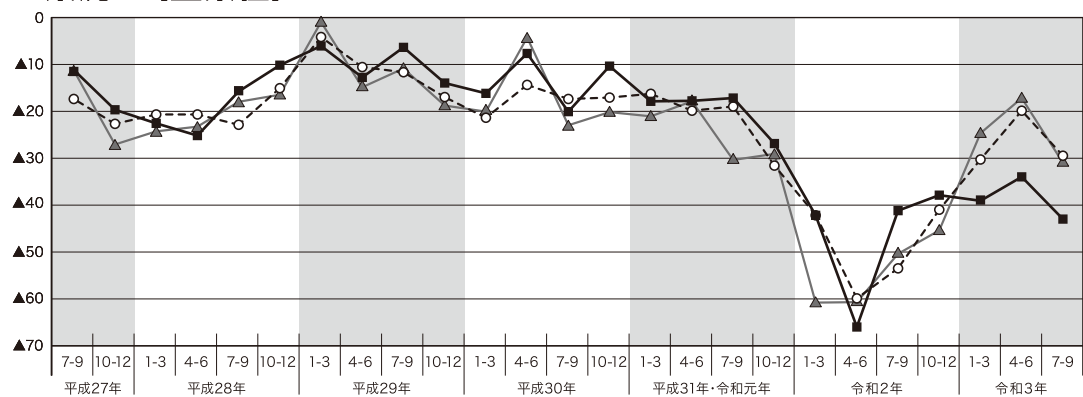


鶴岡商工会議所 景況調査

令和3年7月～9月期

* 調査対象: 会員事業所260社 * 回答数: 112社 (回答率43.1%)

● 業況DI(全業種)



●今期水準(令和3年7-9月)は、9ポイント悪化し▲42.6となった。

●対前年同期(令和2年7-9月)は、9.6ポイント悪化し▲29.1となった。

●来期見通し(令和3年10-12月)は、13.8ポイント悪化し▲30.6となった。

※全業種業況DIは、前回調査と比べ全ての項目が悪化している。その要因としてコロナ第5波の影響が考えられる。

● 経営上の問題点

🏠 建設業

前回調査と同様に「材料価格の上昇」が最も多くなっている。次に「熟練技術者の確保難」、「民間需要の停滞」が続いている。新型コロナの影響によるウッドショックやメタルショックを受け、輸入材料不足による材料の高騰が資金繰りの悪化に繋がると懸念される。

🔨 製造業

「原材料価格の上昇」が突出して多く、次に「従業員の確保難」、「需要の停滞」が続いている。コロナ禍の影響に加え、厳しい経営課題に直面しているなか、最低賃金の値上げ、中小企業法改正が与える影響を危惧している声有り。

📦 卸売業

「需要の停滞」が最も多くなっている。次に「仕入単価の上昇」、「従業員の確保難」が続いている。事業者からは長引く移動制限により県外からの営業を受け入れることが難しい等の声有り。

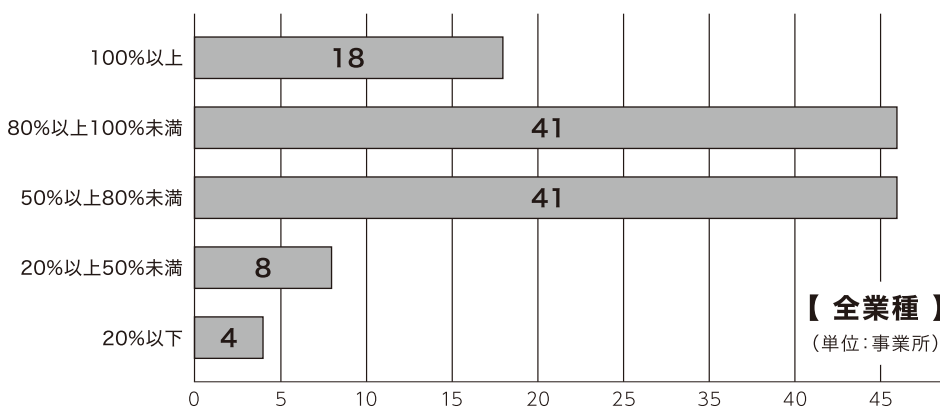
📦 小売業

前回の調査と同様に「需要の停滞」が突出して多くなっている。次いで、「消費者ニーズの変化への対応」、さらに「大型店・中型店の進出による競争の激化」と「販売単価の低下・上昇難」が同数で続いている。コロナ第5波の影響により経営成績、財政状態に反映していることが伺える。事業者からは、コロナの感染者数により売上の増減が左右され、手の打ちようがない等の声有り。

★ サービス業

前回調査と同様に「需要の停滞」が突出して多くなっており、次に「人件費以外の経費の増加」、「従業員の確保難」が同数で続いている。コロナ第5波の影響により前回調査と同様の項目が経営課題で注視されている。

付帯調査



「今期とコロナ前の売上高」の比較

今期(令和3年7月～9月)とコロナ前(令和元年7月～9月)

全業種では「100%以上」を選択した事業者が18事業所となっている。一方、「80%以上100%未満」と「50%以上80%未満」が同様に41事業となっている。

以上より、売上高がコロナ前の水準に回復している事業所もあるが、コロナ感染者の状況に左右される業種(小売、サービス業)を中心に売上高の回復に時間を要する事業所が多くみられる結果となった。

8/24(火)

3密時代の接客術 セミナー



マスクをすると笑顔も無表情に見えてしまう。笑顔を連想させる笑声(えごえ)や丁寧な動作を心がけることで、お客様は丁寧におもてなしされているように感じることができる。

● 場所: オンライン開催
● 講師: Blooming place代表 松田美紀氏
● 共催: 鶴岡TMO・鶴岡商店会連合会

9/13(月)

2030プロジェクト SDGs×鶴岡市 セミナー

政府は、本年9月にデジタル庁を設置、発足させました。これにより、今後はデジタル化への動きが加速することが予想されます。そこで、当所では鶴岡市と連携しSDGsとDXについてのセミナーを2部構成(第1部:SDGs、第2部:DX)で開催しました。

第1部では、改めてSDGsとは何かについての説明と鶴岡市における取組み等の説明がありました。また、鶴岡市は、昨年「SDGs未来都市」に選定されました。これにより、本年開始するSDGsに取組む企業・団体等を募集する「つるおかSDGs推進パートナー」の登録制度についての紹介がありました。

★セミナーの主な内容★

- SDGs
 - ・SDGsとは何か(背景と意義)
 - ・鶴岡市における取り組み
 - ・鶴岡市SDGs登録・認証制度の紹介
- DX
 - ・DXが地域にもたらす変化概観
 - ・DXに関する政府動向
 - ・鶴岡市が進めるデジタル化戦略

デジタルにより実現するためにデジタル化戦略の1つとして、官民データの地産地消をコンセプトにローカルハブ、ウェルビーイングの基盤を整えることを計画しています。それにより、地域一丸となりデジタル化に取組むことがステイナブルな地方創生に繋がるとの説明をして頂きました。

● 講師
【第1部】鶴岡市役所SDGs未来都市戦略推進アドバイザー 野村総合研究所 浅野憲周氏
【第2部】鶴岡市役所デジタル化戦略推進室 事業推進員 野村総合研究所 神林優太氏

注)ローカルハブ:地方にありながら世界中と繋がる機能を有する都市の造語
ウェルビーイング:あらゆる市民の幸福や豊かさが実現されている姿

9/14(火)

制度改正に伴う 専門家派遣等事業 コロナ禍で考える 働き方改革

★セミナーの主な内容★

- ・中小企業でも適用が開始の働き方改革とは?
- ・クラウドサービスでデータを共有して効率化
- ・社内や社外コミュニケーションのSNS活用術
- ・ZOOMやSkypeを使ったテレビ電話の活用法
- ・会社のパソコンをタブレットで遠隔操作する
- ・会計、業務や勤務の管理をオンラインで行う
- ・AI(人工知能)やIoTによる業務の改善と高速化
- ・テレワークで注意が必要なセキュリティ対策
- ・緊急時に備え用意すべき機器やサービス一覧

● 場所: 庄内産業振興センター
● 講師: イーンスパイア(株)代表取締役 ネットビジネスアナリスト 横田秀珠氏

当所では毎年、日本商工会議所の「制度改正に伴う専門家派遣等事業」を活用した講習会を開催しております。今年度は全4回の講習会を予定しており、第1回目は「コロナ禍で考える働き方改革」をテーマに開催しました。講習会では、政府の新型コロナウィルス感染症関連の支援策を交えながらデジタルを活用した働き方改革についての説明がありました。また、デジタル化が急速に進む中で、従業員の働き方改革と共にビジネスモデルを改革するチャンスである旨の説明がありました。今後は、デジタルの波に乗り遅れずに新たなビジネスチャンスを掴み、それを経営に反映させることが重要なポイントになると感じました。

9/7.14.21(火)

鶴岡TMO 商店・商店街レベルアップ事業 商店・商店街魅力向上セミナー I-T入門セミナー スマホ・タブレットで 商売繁盛!



鶴岡TMO主催、鶴岡商工会議所小売商業部会・鶴岡商店会連合会共催によるI-Tを活用した販売促進・販路開拓セミナーを開催しました。初心者向けに基礎編・Googleマイビジネス編・各種SNS

● 場所: 鶴岡商工会議所 会議室
● 講師: イーンスパイア(株)代表取締役 ネットビジネスアナリスト 横田秀珠氏
● 受講者数: 延べ34名

実践編の3回連続講座で売上アップにつながる写真の撮り方、加工、Googleマイビジネスの登録等をスマートフォンでの操作を交え行いました。講師のイーンスパイア(株)代表取締役の横田秀珠氏が、最新の様々なソーシャルメディアの特徴とその違いについて解説するとともに商売繁盛につながるI-Tツールの活用事例を紹介。 「地図に企業名を表示したいならGoogleマイビジネスに無料登録」「Googleマップの口コミを書いてもらえるような9つ取り組み」「若者はInstagramを検索エンジンとして使い始める」と述べ、ネットビジネスについて手とり足とり教えていただきました。